

Title	基礎研究マネジメントの諸問題
Author(s)	丸山, 瑛一
Citation	年次学術大会講演要旨集, 6: 154
Issue Date	1991-10-17
Type	Presentation
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/5302
Rights	本著作物は研究・技術計画学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Science Policy and Research Management.
Description	シンポジウム

○丸山 瑛一（日立製作所）

1. 基礎研究の目的

基礎研究の目的については、いろいろな見解があるが、われわれは下の5項目を主な目的と考えている。

- a) 科学・技術の最先端の動向を注視すること。
- b) オリジナリティーの高い新概念の創出（苗床の役割）。
- c) テクノサイエンスの追求。
- d) 国際規模の研究活動による企業イメージの向上。
- e) 人材の育成。

2. テーマの設定と資源配分

当社の基礎研究所は100%本社費で運営されており、テーマに関しても研究所長の裁断に任されている。したがって実質的には研究者からの提案にもとづいてテーマが決定されるが、そのテーマから期待される学術上あるいは産業上のインパクトに関しては定期的に徹底的な討論がなされる。その討論結果にもとづいて人的資源や各種費用の配分が決定される。

3. 研究者および研究の評価

評価にあたっては研究者の評価と研究の評価とを明確に分けることが大切だと思う。研究そのものの評価は基礎研究の場合、大きな困難を伴うし、正しい評価はほとんど不可能と思われるので、あまり重視しないことが大切である。また研究者の評価は適性や研究のフェーズをよく見きわめてローテーションを行うことが研究所の活性化に必要なことである。基礎研究所における研究者の評価の目的は、適性のある意欲的な研究者には思い切った自由度を与えて研究に専念してもらうことにつきと思う。